

2018年10月

日印首脳会談のため訪日したインド・モディ首相が、 日本観光ブースに来訪しました

観光庁、日本政府観光局（JNTO）及びインド政府観光局は、モディ首相が日印首脳会談のために訪日した東京において、10月29日（月）に日印両国の観光ブースを設け、観光交流の促進を図りました。ブースにはモディ首相、チノイ駐日インド大使、平松駐インド日本国大使が来場され、田端観光庁長官、清野JNTO理事長、ブラフマーインド政府観光局次長、比良ホテルマネージメントインターナショナル（HMI）株式会社代表取締役が一行を歓迎しました。

ブース内では、日本の自然景観、伝統的な祭から先端技術に至るまで、幅広い観光の魅力をパネルで紹介しました。また、モディ首相に接客用人型ロボット「Pepper」のデモンストレーションを体験していただきました。

清野理事長からは、日本は一般観光のみならず、修学旅行や留学先として、インドの若者の将来に役立つ産業観光資源を多く有していることを説明し、両国での観光交流の着実な拡大に向け、今後も交流を深めていくことを確認しました。



写真上段：<左から>清野 智 JNTO 理事長、田端 浩 観光庁長官、ナレンドラ・モディ 首相、比良 竜虎 HMI 株式会社代表取締役、
パドミニ・ブラフマー インド政府観光局 東アジア地区総局次長

写真下段：（左）JNTO 理事長による歓迎、（中央）日本の観光魅力の紹介、（右）接客用人型ロボットのデモ体験※

※株式会社ゼンショーホールディングスの協力により、ソフトバンクロボティクスの Pepper を活用し、観光庁と JNTO が独自に実施